

第1回 京浜急行大師線連続立体交差事業
2期区間踏切対策に関する有識者懇談会 議事要旨

1 日時 令和8年1月27日（水）13時30分～14時30分

2 場所 川崎市役所本庁舎

3 議事

(1) 2期区間踏切対策について

4 委員からの主な意見

- ・アンケートについては、踏切付近の小学校、保育園のほか、交通事業者など、幅広い利用者の方から意見聴取することが望ましい。また安全対策について、定量的な効果の把握が必要と考えられる
- ・踏切対策について、検討の深度化を図るため、踏切利用者の特性を把握することが望ましい
- ・鉄道アンダー案について、技術的に施工可能と考えられる。夜間工事が多く、騒音振動に留意すべき。また、工事期間中の周辺住民への配慮も検討が必要である
- ・令和8年度に予定する京浜急行大師線連続立体交差事業の都市計画変更（2期区間の廃止）時に、併せて、代替案を確定し、都市計画決定を行う状況が最も望ましいが、技術的検証や関係者調整などにより、引き続き検討中にならざるえない状況であるならば、市民に対し、説明を尽くすことが大切である
- ・費用対効果の考え方として、「移動時間短縮便益」が大半を占めると思われるが、事業を推進するにあたり、都市再生整備計画など面的なまちづくりで用いられるその他便益を把握し、事業効果についても把握することが望ましい